

(別紙様式4)

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
郡山情報ビジネス専門学校	昭和59年3月1日	小林 一雄	〒963-8002 福島県郡山市駅前一丁目12番2号 TEL 024-923-4665				
設置者名	設置認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人新潟総合学院	平成7年3月24日	池田 祥護	〒951-8065 新潟県新潟市中央区東堀通一番町494番地3 TEL 025-210-8565				
目的	本校は、商業実務関係の専門課程を設置し、社会に貢献しうる人材を育成することを目的とし、推薦学科であるスポーツビジネス科においては、日々変化するスポーツ業界に柔軟に対応し、最新の業界動向を教育課程に取り入れるとともに、企業等との連携により、より実践的な人材の育成を目的とする。						
分野	課程名	学科名		修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
商業実務	商業実務専門課程	スポーツビジネス科		2年昼	1,865時間	平成17年文部科学大臣告示176号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技		
	759単位時間	27単位時間	0単位時間	1,789単位時間	0単位時間		
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
30人	9人	3人	4人	7人			
学期制度	■ 前期：4月1日から9月30日まで ■ 後期：10月1日から3月31日まで		成績評価	■ 成績表 (有)・無) ■ 成績評価の基準・方法について			
長期休み	■ 学年初め：4月1日から4月6日 ■ 夏季：7月20日から8月31日まで ■ 冬季：12月21日から1月7日まで ■ 学年末：2月11日から3月31日まで		卒業・進級条件	出席率90%以上の出席と科目履修終了により進級・卒業とする			
生徒指導	■ クラス担任制 (有)・無) ■ 長期欠席者への指導者の対応		課外活動	■ 課外活動の種類 ■ サークル活動 (有)・無)			
主な就職先	■ 主な就職先、業界 小売業、スポーツクラブ ■ 就職率100% ■ 卒業者に占める就職者の割合100% ■ その他 (平成25年度卒業者に関する平成26年6月時点の情報)		主な資格・検定	・ AFAAフィットネスインストラクターライセンス ・ PADIオープンウォーターライセンス ・ JSBAスノーボードライセンス ・ 販売士検定2級 ・ サービス接客検定			
中途退学の現状	■ 中途退学者 0名 ■ 中退率 0% 平成25年4月9日在学者9名 (平成25年4月入学者を含む) 平成26年3月5日在学者9名 (平成26年3月卒業生を含む) ■ 中途退学の主な理由 ■ 中退防止のための取組 担任による出欠席確認の徹底, 定期的な個別面談, モチベーション教育, 教職員の情報共有						
ホームページ	URL : http://www.jo-bi.jp						

1 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

スポーツ・ビジネス分野で活躍できる、より実践的な人材を輩出することが専門課程の責務であることから、当該学科においては、現在実務に従事する非常勤講師の講義（座学・実習）のほか、すべての在學生は企業連携のもとで2年次にプロスポーツ（サッカー、バスケット等）のイベント運営に携わるとともに、実際に企画立案等のノウハウ等も座学で学び、イベント運営も手がけられる人材の育成を目指す。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

名 前	所 属
大 内 郁 弥	特定非営利活動法人ESTRELLAS 理事 クラブマネージャー
高 橋 悟	セントラルフィットネスクラブ郡山 店長
高 橋 智 幸	株式会社ばるる 専務取締役、福島県ミニバスケットボール連盟 副理事長
小 林 一 雄	学校法人新潟総合学院 郡山情報ビジネス専門学校 校長
菅 野 浩 二	学校法人新潟総合学院 郡山情報ビジネス専門学校 教員

(開催日時)

第1回 平成26年 7月18日 13:30 ～ 15:00

第2回 平成26年11月14日 13:30 ～ 15:00

第3回 平成 年 月 日 : ～ :

2 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

業界において即戦力となる、イベント企画力と運営に長けた人材育成を目指す。よって、座学中心のイベント企画の学習と、企業連携によるイベント運営における実習を並行して進める。外部講師より指導を受けながら、学生の企画による校内スポーツイベントも運営し、そのスキルを磨く。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ス ポ ー ツ イ ベ ン ト 運 営 実 習	イベント運営での実習を通して、実習で得た経験を自らの企画やイベント運営の機会に活かす。	株式会社AC福島ユナイテッド

3 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

基本は企業現場からの教員採用を前提としているが、学校内部で教員年数を重ねていくにつれ、ややもすれば過去の知識・経験のまま陳腐化した教育を施す危険性もある。このため、就業規則第57条等による教育・研修体制、特に外部研修を充実させ、日々の研鑽とスキルアップを図る方針とする。

4 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

名 前	所 属
影 山 幸 一	郡山市教育委員会 教育長
桑 原 一 徳	学校法人新潟総合学院 郡山情報ビジネス専門学校 同窓会会長
三 部 吉 久	税理士法人三部会計事務所 代表社員所長
鈴 木 秀 明	郡山商工会議所 開発事業部部長
永 山 三 郎	学校法人新潟総合学院 郡山情報ビジネス専門学校 元学校長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL : <http://www.jo-bi.jp>

5 情報提供

(情報提供の方法)

URL : <http://www.jo-bi.jp>

授 業 科 目 等 の 概 要

商業実務			スポーツビジネス科		平成26年度					
分 類			授 業 科 目 名	授 業 科 目 概 要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授 業 方 法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			文 書 作 成 実 習	ワードの操作方法と文書作成方法の習得	1前	64	-			○
○			コミュニケーション論 I	正しい言葉遣いや電話対応の基本的知識の習得	1後	24	-	○		
○			キャリアプラン I	ビジネスマナーを身に付け、面接試験を突破する力を養う。	1後	48	-	○		
○			一般教養演習	社会人に必要な教養と常識を身に付け、筆記試験の対策を行う。	1後	27	-		○	
○			プレゼンテーション実習	PowerPointの操作方法とプレゼンテーション力を養う。	1後	60	-			○
○			レクリエーション実習	バスハイクと球技大会を通して集団内での協調性を身に付ける。	1後	20	-			○
		○	インターンシップ	実社会の職場体験を通して職業観を養い進路選択の一助とする。	1後	30	-			○
○			就 職 研 修	就職に対する心構えと挨拶や電話対応の具体的な技術を培う。	1後	20	-			○
○			小 売 業 の 類 型	流通と小売業の役割や店舗形態とその運営特性を学ぶ。	1前	64	-	○		
○			マーチャндаイジング	仕入計画や商品知識の活用方法から販売計画までを学ぶ。	1前	64	-	○		
○			ストアオペレーション	戦略的購買促進の在り方や戦略的ディスプレイの実施方法等を学ぶ。	1前	48	-	○		
○			マーケティング	マーケティング戦略の方法やマーケットリサーチの方法などを学ぶ。	1前	48	-	○		
○			販売・経営管理	販売管理者の基本業務や法令知識、経営分析の方法などを学ぶ。	1前	32	-	○		
○			販売士2級演習 I A	販売士検定2級合格へ向けた直前期の集中講義前半。	1後	36	-	○		
○			販売士2級演習 I B ①	販売士検定2級合格へ向けた直前期の集中講義後半。	1後	21	-	○		
○			販売士2級演習 I B ②	販売士検定2級合格へ向けた直前期の集中講義後半。	1後	32	-	○		
○			スポーツビジネス	スポーツチームを誕生させるまでのノウハウと収益構造を学ぶ。	1後	16	-	○		
○			ファーストエイド	ケガの事例を通しスポーツ事故・故障を未然に防ぐ知識を培う。	1後	16	-	○		
○			スポーツ実習 I A	有酸素マシンによる40分以上の運動にて心肺機能向上を目指す。	1前	32	-			○
○			スポーツ実習 I B	バランスボールを使用し体幹(インナーマッスル)の強化をはかる。	1後	48	-			○

○			スノーボード実習	指導者の立場からスノーボードの技術を身に付ける。	1後	20	-			○
	○		キャンプインストラクター	キャンプを通して指導者の立場から安全な行動のしかたを身に付ける。	1前	20	-			○
○			フィットネスインストラクター I A	AFAAレジスタンス検定の合格に向けた基礎的知識・技術を培う。	1前	48	-			○
○			フィットネスインストラクター I B	AFAAレジスタンス検定の合格に向け、実践的能力を身に付ける。	1前	24	-			○
○			スポーツイベント運営企画 I	スポーツイベントの内容を理解しひとつの大会の企画立案を目指す。	1前	48	-			○
○			スポーツイベント運営実習 I	スポーツイベントへの参加を通して運営できる人材の育成を目指す。	1後	64	-			○
	○		実務実習	企業での実務経験を通して職務の内容を理解させ、職業観を高める。	1後	96	-			○
○			キャリアプラン II	社会人として必要な心構えとビジネスマナーを習得する。	2後	62	-	○		
○			コミュニケーション論 II	ワークショップという手法を用いてコミュニケーション能力を養う。	2前	30	-	○		
○			表計算実習	エクセルの操作方法と表計算処理の方法を学ぶ。	2前	64	-			○
○			ネットマーケティング	インターネットによるマーケティングの手法を習得する。	2後	64	-	○		
○			卒業研究	学科の特性に合わせたテーマを設定し、研究・プレゼンを行う。	2後	32	-	○		
○			レクリエーション実習	バスハイクと球技大会を通して集団内での協調性を身に付ける。	2後	20	-			○
	○		インターンシップ実習	実社会の職場体験を通して職業観を養い進路選択の一助とする。	2前	20	-			○
○			国際文化研修	異文化体験を通して、グローバル社会に対応できる国際感覚を養う。	2後	40	-			○
○			ビジネスマナー研修	コミュニケーション能力と問題提起力を養い、就職試験対策を行う。	2後	20	-			○
○			フィットネスインストラクター II A	AFAAレジスタンス検定の合格に向けた基礎的知識・技術を培う。	2前	45	-			○
○			フィットネスインストラクター II B	AFAAレジスタンス検定の合格に向け、実践的能力を身に付ける。	2後	48	-			○
○			ダイビング学	ダイビング実習でのライセンス取得に向けた基礎的知識を習得する。	2前	30	-			○
○			ダイビング実習	伊豆(相模湾・駿河湾)にてダイビングライセンスを取得する。	2前	32	-			○
○			スポーツ生理学	脳～神経～筋エネルギー～身体の動きと基礎的部分を理解する。	2前	30	-	○		
○			地域スポーツ学	スポーツを通しての地域貢献・地域交流・地域興隆を学ぶ。	2後	32	-	○		
○			スポーツ実習 II A	有酸素マシンによる40分以上の運動にて心肺機能向上を目指す。	2前	60	-			○
○			スポーツ実習 II B	バランスボールを使用し体幹(インナーマッスル)の強化をはかる。	2後	96	-			○
○			サービス接遇	接客販売に関する知識と技術を身に付ける。	2前	60	-	○		
○			幼児プログラム実習	幼児運動プログラムの活用法を指導できる人材育成。	2後	32	-			○

○			スポーツイベント運営企画Ⅱ	スポーツイベントの内容を理解しひとつの大会の企画立案を目指す。	2後	64	-			○
○			スポーツイベント運営実習Ⅱ	スポーツイベントへの参加を通して運営できる人材の育成を目指す。	2後	64	-			○
○			スポーツ歯科	スポーツ選手の歯科的管理について学習する。	2後	16	-			○
		○	企業実習	早期企業実習（内定先にて）	2後	544	-			○
合 計			50科目			1,865単位時間				